

科目名		銀行論(Banking)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第5学年	経営情報学科	学修	1単位	選択	講義	前期 100分/週	45時間		
担当教員		【常勤】西京銀行の行員 (副担当)田川 晋也							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	実務家による講義により、金融の仕組み、銀行の役割、銀行実務を理解することを目標とする。								
学習・教育目標	(C)②	JABEE基準1(2)		(d)-(f)					
関連科目, 教科書および補助教材									
関連科目	経済学 I・II、経営財務論 I・II、財務会計論 I・II								
教科書	西京銀行が作成								
補助教材等	プリント(演習問題)								
達成度評価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合				100					100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】				◎					
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】				○					
汎用的技能 【論理的思考力】				○					
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】									
学習上の留意点および学習上の助言									
この科目は、経営情報学科の経営・経済系の科目で習った知識が、実際、銀行でどのように使われているかを学ぶことになる。教科書で習うことと実務との違いを意識して学習してもらいたい。									

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス 銀行の人事戦略	・シラバスから学習の意義、授業の進め方、評価方法を理解できる。 ・銀行の人事戦略が理解できる。	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後のレポートにて理解すること。
2	銀行のシステム	・システム構築に関するマネジメントが理解できる。	
3	銀行の経営アドバイス	・企業の経営戦略を立てる際に、現状の分析と戦略的に思考することができる。	
4	銀行の役割・仕組み	・生活に密着した銀行の役割、仕組みを理解できる。	
5	銀行の営業店経営	・銀行の支店における営業戦略を理解できる	
6	中小企業の経営課題	・中小企業の儲かる仕組み、利益を出す仕組みを理解できる。	
7	ライフプランニング	・ライフイベント、資産形成の考え方とポートフォリオについて理解できる。	
8	地域密着金融 (地域公開講座)	・地域金融機関が実践する仕掛けと取り組みについて理解できる。	
9	アジア新興国の現状 (地域公開講座)	・アジア新興国トピックと日本企業のアジア進出について理解できる。	
10	マーケットの仕組み	・債券市場の役割と仕組みについて理解できる。	
11		・株式市場の役割と仕組みについて理解できる。	
12	決算書の見方	・決算書の仕組み、簿記について銀行の考え方を理解できる。	
13	企業会計・キャッシュフロー経営	・企業会計の基礎、キャッシュフロー経営、企業格付けについて理解できる。	
14	総論 (地域公開講座)	・銀行論のまとめ。	
15	授業改善アンケートの実施		
総学習時間数			45時間
講義			25時間
自学自習			20時間